

平成29年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	梓川児童センター			所管課 TEL	こども育成課 34-3261					
所在地	松本市梓川梓736-1			設置年月	平成18年4月1日					
施設設置目的	地域の児童健全育成の拠点施設として、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的としています。									
施設概要・設備	鉄骨造平屋建て、延床面積567.21㎡ 集会室、図書室、遊戯室、創作活動室、児童クラブ室									
指定管理者名(選定方式)	社会福祉法人 松本市社会福祉協議会(公募)									
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日									
指定管理者の 主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の安全管理、健康管理、情緒の安定、児童への適切な遊びの指導 ・施設の維持管理 ・放課後児童健全育成事業 ・つどいの広場事業 									
利用料金制の導入	なし 委託料方式									
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)					
	年間延べ利用人数	50675	58726	115.9%	115.9%					
	放課後児童健全育成事業 登録児童数(月平均)	279	305	109.3%	109.3%					
	つどいのひろば事業延利用者数	8707	7361	84.5%	84.5%					
	(特記事項)									
事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成29年度)				市の収支					
	収入 (歳入)	年度計画額		収支実績額		平成29年度決算		平成28年度決算		
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
		指定管理料	25,338,000	指定管理料	25,554,907	利用料収入	8,274,700	利用料収入	7,735,400	
	指定管理料	2,538,000	指定管理料	2,537,455	国・県補助金	10,200,000	国・県補助金	8,712,000		
	計	27,876,000	計	28,092,362	計	18,474,700	計	16,447,400		
	支出 (歳出)	児童館人件費	12,039,000	児童館人件費	11,953,842	指定管理料	28,092,362	指定管理料	24,042,747	
		児童館事業費	14,977,000	児童館事業費	14,250,843	営繕工事費	0	営繕工事費	0	
		つどい事業費	2,738,000	つどい事業費	2,550,192	備品購入費	231,336	備品購入費	34,560	
		指定管理間接経費	424,300	指定管理間接経費	399,567					
計		30,178,300	計	29,154,444	計	28,323,698	計	24,077,307		
損益	-2,302,300		-1,062,082		差引	-9,848,998		差引	-7,629,907	
(特記事項)										

2 市(所管課)による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準	
A	(1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7) 事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5) 事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.2) 不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
64.2

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠	
管理能力	団体の概要	1 団体の経営状況は良好か。	2	B	当期決算において特に問題は見受けられない。	
		2 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか。	1	B	事務局と管理施設とが連携をとっており、必要に応じてバックアップする体制が整っている。	
	適切な管理運営	3 市の方針、施設の設置目的、業務等を的確に理解した管理はされているか。	2	B	児童館事業及び放課後児童健全育成事業について、十分な理解がみられる。	
		4 市が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか。	2	B	放課後児童健全育成事業実施要綱に基づき、的確な運営を行っている。	
		5 公共の仕事という倫理性や法令遵守について認識し、対応しているか。	2	B	法令遵守について、特に問題は見られない。	
		6 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか。	2	B	担当課とは連携を密にし、的確な対応を行っている。	
	市民の平等利用	7 正当な理由なく一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか。	2	B	適切な運営を行っており、平等利用がなされている。	
		8 事業内容に偏りがあり、利用者が限られることはないか。	2	B	適切な運営を行っており、平等利用がなされている。	
	適切な組織・体制	9 職員体制や配置人員は適切であるか。	2	B	市が定める運営基準に則った人員配置・運営がなされている。	
		10 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか。	2	B	聞き取り調査及び書面を確認したところ、特に配置職員に関する資格の欠損は見受けられない。	
	職員研修・人材育成	11 労働関係法令等を遵守した労務管理規程等を整備し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか。	2	B	就業規則等を整備し、適切な処理がなされている。	
		12 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか。	2	A	指定管理者事務局で充実した研修内容を計画し、職員の資質向上に努めている。	
	経理及び事務処理等	13 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか。	2	B	指定管理者団体で定めた規程に基づき、適切な処理がなされている。	
		14 経理帳簿や台帳等を整備し、情報公開や監査請求に適切に対処できるか。	2	B	各施設とも、適切な文書管理に努めている。	
		15 必要に応じパソコン等IT機器を活用できるか。	1	B	事務局を通じて、電子データの授受が可能となっている。	
		16 施設や附属設備の保守点検作業は、必要な基準や仕様を満たしているか。	1	B	防災設備の点検等、必要に応じた保守点検を実施している。	
		17 業務報告や事業報告が適切に作成されているか。	2	B	毎月の実施報告書は遅滞なく提出されている。	
		安全管理	18 安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか。	3	B	安全管理について、館長を中心に職員間で日々確認を実施している。
			19 施設、警備体制等は適切であるか。	3	B	鍵の管理場所等、適切な管理がなされている。
	20 利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか。		3	B	職員会議等、機会のあるごとに安全管理について職員間で確認を実施している。	
緊急時対応	21 事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか。	3	B	職員間と事務局間で緊急時の連絡網を整備しており、緊急時に対応できる体制が整っている。		
	22 避難経路が確保されており、避難時に支障をきたす障害物はないか。	3	B	施設内を目視した結果、適切な対応がなされている。		
24項目 50点	個人情報保護 秘密の保護	23 個人情報等の具体的管理方法(書類・電子データ等)においてセキュリティ対策を講じているか。	2	B	個人情報が掲載されているものは、すべて施設可能なキャビネット等に収納されており、適切に管理されている。	
		24 職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか。	2	B	館長を中心に、職員に対し情報の漏えいについて指導を行っている。	
施設の運営	業務内容	25 業務について処理・対応が適切に行われているか。	2	B	放課後児童健全育成事業事務取扱マニュアルに基づき、業務が遂行されている。	
		26 管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか。	2	B	指定管理施設を的確に把握し、業務に当たっている。	
		27 事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか。	3	B	適切に事業を展開するとともに、子どもの自主性を育てる事業についても創意工夫がみられる。	
		28 年間の事業量が適切に実行されているか。	2	B	年度計画を運営委員会に諮り、適切な事業量を実施している。	
	経費節減・業務効率化	29 事業計画書どおりの経費節減や業務効率化が実行されているか。	3	B	聞き取り調査において、特に水道光熱費等の節減に努めている。	
	備品等の維持管理	30 引き渡した備品等に過不足はないか。	1	B	一部の物品等に経年劣化による欠損等が見受けられるが、使用上問題は無く、整頓されている。	
		31 引き渡した備品等はその機能が失われていないか。	1	B	一部の物品等に経年劣化による欠損等が見受けられるが、使用上問題は無く、整頓されている。	
	利用の促進	32 施設の利用促進に努めているか。	3	B	延べ利用人数は増加しており、利用促進に努めている。	
	利用者サービス	33 利用者サービスの向上に努めているか。	4	B	定期的な会議を開催し、他の館とも情報交換の中で利用者サービスの向上に努めている。	
	障害者等への配慮 苦情・要望等への対応	34 障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか。	3	B	要支援児に対する職員の加配について、基準に沿った運営がなされている。	
35 利用者アンケートが適切に実施されており、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか。		3	B	苦情発生時には担当課へ報告を行い、適切に対応する環境が整っている。		
14項目 34点	セルフモニタリング	36 セルフモニタリングが適切に行われているか。	3	B	アンケート結果や実績報告書は、遅滞なく提出されている。	
	環境への配慮	37 省エネ等環境負荷の軽減や周辺環境に配慮するとともに、廃棄物は適切に処理されているか。	2	B	経費節減の観点からも水道光熱費の節約に努めており、廃棄物も適切に処分されている。	
経済性 6点	事業報告及び決算	38 地域との連携	2	A	児童館行事や自主事業において、地域ボランティアや地域団体と積極的に連携し、協働で事業を実施している。	
		39 支出総額は事業計画書の範囲内であるか。	3	B	年度計画額に基づき、適切な支出の中で事業が実施されている。	
		40 事業計画書どおり、収入が確保できたか。(無料施設では、利用者を確保できたか)	3	B	登録児童数は増加しており、利用促進に努めている。	

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容・別紙へ記入してもよい)

利用者アンケート	実施時期	平成30年2月
	調査対象	児童館・児童センター利用者、つどいの広場利用者
	調査方法	当該施設において、対象者に配布、封筒に封入して提出
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

平成29年度の 自己評価	登録児童が300名を越し、大きなケガのないように1年間安心・安全を全職員で心がけた。その成果もあり、センター内での怪我が大幅に減った。中半は言動が乱暴な子によって振り回されることもあり、こども育成課にもセンター訪問をしてもらい様子を見てもらった。アドバイスをうけ個別指導に心がけ、大きな問題を起こすことなく一年を終えることができた。自主活動の「子ども運営委員会子ども企画」は毎日1回～3回と予定が入り定着している。つどいの広場や地域の福祉関係機関との連携もうまく運び、子育てに困難を抱える母親に手を差し伸べることに繋げる担当者会が年間5回開催することができ、地域のとの繋がりが強くなった。
要望・苦情への 対応状況	
今後の目標	0歳児から18歳までを継続的・総合的、更には有機的に支援する地域福祉システムの構築 27年度・28年度・29年度と行ってきた活動をさらに日常的なものとしていく。 学校と違って「十分に時間をかけて話を聞くことができる」「地域の情報を集めやすい」「毎日保護者と接することができる」といった児童センターの特質を生かし、社会教育機関としての務めを十分に果たせるようにしていきたい。安全面に配慮して利用する子どもたちに、十分な活躍の場を繰り返し提供していきたい。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準	
A (1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B (0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C (0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D (0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね適切に事業が実施されている。 事業の収支決算は適切である。 <p>【総合的な評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果は概ね利用者の満足を得るものであり、適切な管理が行われている。 地域的な人口増加と留守家庭児童の増加に伴い、利用者数が急増し登録児童は300名を超えているが、安全管理は勿論、事業や事務処理においても適切で安定した管理が行われていることは評価できる。 地域団体やボランティアとも良好な関係を築き、積極的な交流が図れている。 児童の様子について、学校やその他の関係機関と緊密な連携が図れている。 今後も引き続き、利用者の安全に配慮するとともに、子どもたちが基本的な生活習慣を身につけるための援助や、遊びを通じて自立するための手助けなどに取り組まれない。また、「松本市子どもの権利に関する条例」に基づき、利用児童と保護者に寄り添い、多様化する児童館へのニーズに応えられるよう、柔軟であり堅実な運営を期待したい。
--

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
71.2

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	「不可」
「不可」の場合、指定管理者の取り消しの処分を含め早急な改善対応を検討する必要がある。	

判断結果
適正

【別紙】 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	平成30年2月						
	調査対象	児童館・児童センター利用者、つどいの広場利用者						
	調査方法	当該施設において、対象者に配布、封筒に封入して提出						
児童館 調査結果	〔回答数〕 29							
		梓川	満足	どちらかという満足	ふつう	どちらかという不満	不満	計
	設問1	職員対応	24	4	1			29
	設問2	遊び	23	6	0			29
	設問3	遊具施設	16	10	2	1		29
	設問4	衛生管理	19	6	4			29
	設問5	行事	23	4	2			29
	設問6	雰囲気	15	8	4	2		29
	設問7	利用し易さ	15	10	4			29
児童館 利用者からの意見 要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝 ・狭い ・夏休みは7:30開館してほしい ・夏休みは給食を出してほしい(子どものために) ・空気清浄器を設置してほしい ・子:手作りクッキングがしたい ・子:工作がしたい ・子ども企画はとても良い ・子どもがもめたときは知らせてほしい ・兄弟の申請書見直しを ・学級閉鎖時に預かってほしい 							
つどいの広場 調査結果	〔回答数〕 18							
		梓川	満足	どちらかという満足	ふつう	どちらかという不満	不満	計
	設問1	職員対応	16	2				18
	設問2	遊び	15	3				18
	設問3	講座催し	14	1	3			18
	設問4	遊具	12	5	1			18
	設問5	衛生管理	13	4	1			18
	設問6	利用し易さ	16	1	1			18
	設問7	情報提供	12	5	1			18
つどいの広場 利用者からの意見 要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ・お弁当を食べられる日を増やしてほしい。 ・おもちゃが壊れていないか点検等をお願いしたい。 ・午後も利用できるとありがたい。 ・衛生的で利用しやすい。 ・笑顔で接してくれて雰囲気が良い。 							